**令和５年度　第１回大阪府精神保健福祉審議会**

**アルコール健康障がい対策推進部会　議事概要**

■日　　時：令和５年８月１０日（木）　午後２時３０分から午後４時まで

■場　　所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）大会議室３

■出席委員：入來委員、小野委員、佐古委員、清家委員、辻本委員、堤委員、中辻委員、

中屋委員、松井委員、峰委員、吉田委員、和氣委員

■議　　事：（１）第２期大阪府アルコール健康障がい対策推進計画（骨子案）について

（２）その他

■議事結果：

　　　○第２期大阪府アルコール健康障がい対策推進計画（素案）について、委員の意見を

踏まえ、同計画（案）の作成を進めることとする。

■主な意見：

【取組みの柱①　普及啓発の強化】

・若年層をターゲットとした啓発について、アニメーションや漫画の方が馴染みが深く、

見てもらえるのでは。

 ・依存症ポータルサイトのアクセス数を増やすためには、もずやんや大阪府知事のエックス（旧Twitter）などで周知すれば、若年層にもインパクトがあるのでは。

・飲酒運転による事故件数が上がっているが、福岡県や三重県では、飲酒運転を無くす

ことをめざす条例が制定されている。大阪府でも検討してはどうか。

【取組みの柱②　相談支援体制の強化】

・相談先があると知っていても、実際に電話やSNSで相談するのはハードルが高い。

身近に感じられるような相談しやすい体制にしてもらいたい。

【取組みの柱③　治療体制の強化】

・身体科・精神科医療機関から専門医療機関、自助グループへ上手く繋がっていないため、どこに課題があるか調査が必要ではないか。

・身体科医療機関、特に総合病院からの紹介が１０年間で減っている。実態を調査して

もらいたい。

・総合病院の精神科にアルコール依存症について知ってもらうことも、連携をとるため

の手段となるのではないか。

・総合病院に関しては、ソーシャルワーカーがいる地域連携室とやりとりする方が繋がりやすいでのはないか。

・肝機能の悪化とアルコール依存症は関連性が高いが、その認識が低い医師が増えて

いると感じる。

・「地域連携等による依存症早期発見・早期対応・継続支援モデル事業」の中で、研修参加

医療機関に対してアンケートをとったところ、AUDITについては約半数が知らないと回答している。また、AUDITを使ったことがある方が3割弱程度。実際まだ浸透していないのではないか。医療機関への調査が必要ではないか。

・SBIRTSの普及について、保健所の機能を開業医等に知ってもらうことで、もっと広が

っていくのではないか。

【取組みの柱④　切れ目のない回復支援体制の強化】

・国の２期計画にて「回復支援施設」が明記されている。府の２期計画でも記載すべきではないか。

【全体】

・滋賀県では依存症に関する調査を行い、課題の抽出を行ったうえで、計画を策定して

いる。大阪府でも第３期計画の策定に向けて、調査の実施も検討してはどうか。